

文部科学省  
平成28年度音声教材普及推進会議  
(九州・四国・沖縄地区)

国立特別支援教育総合研究所  
情報・支援部(発達障害教育情報センター)  
江田 良市

# 3つの音声教材製作団体の発表から

- ・教科書等が読めない（読みにくい）
  - 学びのスタートラインにつけない
  - 「学ぶ機会」を確保すること、「学び方の切り替え」を。
    - 「理解できるようになった。」 「やる気になった。」 「抵抗感・苦手感が減った。（心理的負担軽減）。」 「今後も使い続けたい。」
- ・学び方、困難さには「個人差」がある
  - 利用者には教育的効果が出ている（比較が大事）
  - どのような子どもに何を、どこで、どのように活用するか（学校、教委単位での検討必要）
- ・開発者の多様なデザイン、コンテンツをもとに、  
使い方は 利用者がきめる
  - 「自己選択」と「自己決定」

# 2つの事例発表から①

## 『音声教材を学校へ』

高知市教育委員会 高畑様の報告から

・「子どもたちのために」・・・導入から活用に向けて  
3つの簡便化・・・教委の支援（手続き、ソフト・データ  
管理、聞ける）

→いっしょに、相談・活用の検討（学校とつながる）

→学校での研修（該当の学校の環境で）

→支援のイメージをもてるよう

◎安心して使える

◎ICT機器整備促進

◎途切れのない支援へ（広げるから広がるへ）

# 2つの事例発表から②

東大先端研 門目様の報告から

・教科書等を読めないことは「学びのスタートライン」につけないこと。

→「**代替手段**で、**学びにチャレンジ**」(情報を届けてあげたい。)

→誰かに**伝えたくなる**。(自分の考えを伝えること可能)

→VTR「勉強は楽しい。」「これがあるから大丈夫。」

・読み書きの困難さは子ども一人一人その背景や要因が異なる。

→多様なアセスメントツール、支援ツールの活用

◎気づきから高校、大学・・・**生涯**にわたって

◎「次の後輩たちに、『**道**』がくれた。」

◎「学びのスタートを切るために」の視点**本人、教師、学校**

音声教材を普及させるために

# 「障害」の捉え方

→障害を通じた  
「人間」の捉え方



# 障害者権利条約の 内容と構成

- 前文 25項目
- 条文 50か条

## 全体を貫いていること

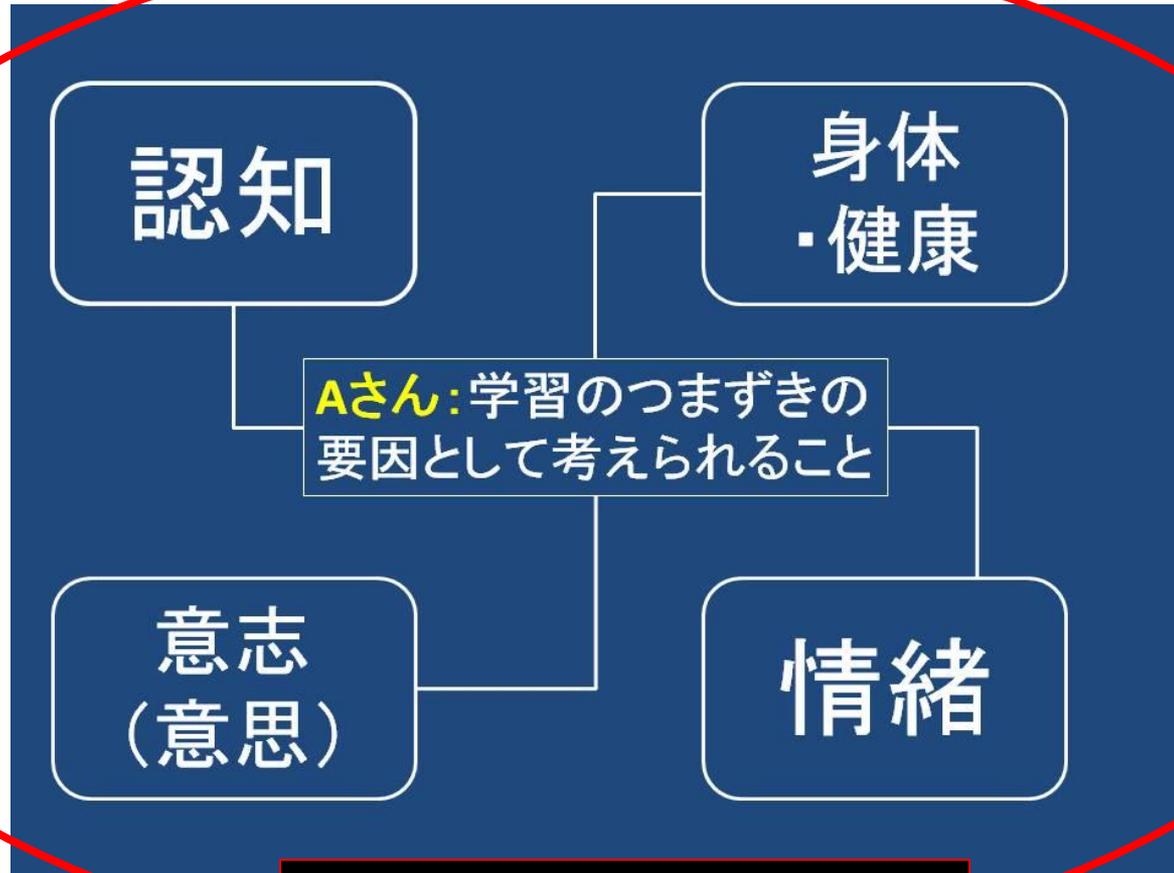
- 「障害のない市民との平等の実現」  
**差別や偏見をなくす**ことを特に大切にしている
- 「障害の捉え方」  
機能面の障害だけではなく、障害のある人を  
取り巻く**環境との関係**

# 障害の捉え方(権利条約 前文 e項)



障害が発展する概念であることを認め、また、障害が、機能障害を有する者とこれらの者に対する態度及び環境による障壁との間の相互作用であって、これらの者が他の者との平等を基礎として社会に完全かつ効果的に参加することを妨げるものによって生ずることを認め、

# 周囲の環境



相互作用

# 音声教材を普及させるために

- ・ 通級のような個別指導の場の活用
- ・ 家庭学習における活用
- ・ 通常の学級における活用

→ 場面（状況）による使い方の違い、  
オプション、カスタマイズ

- ・ 通常の学級で誰でも使える授業づくり
- ・ 異なる学び方を認め合える学級づくり

→ 校内における共通理解

→ 教育委員会を主体とした研修機会

→ 関係機関、保護者との連携

# 音声教材を普及させるために

- 学習支援のためのアセスメント
  - ・つまずきの把握と支援の必要性
- 特性理解から主体的な学びへ
  - ・本人の教育的ニーズの把握
- 「わかる」「できる」が肯定感・効力感に
  - ・学習評価のフィードバック

活用による子どもと教師の成功体験

# 学習支援のためのアセスメント

- A 認知特性のアセスメント
- B 行動特性のアセスメント
- C 教科学習のアセスメント

→①個別の様子と集団での様子

→②推測できるつまずきの要因

→③指導の方針（個別で、集団で）

# 「わかる」「できる」に向けて

メソッド

(何を使い、どう教えるか)



グラウンドデザイン

(どのような授業をつくるか)



アセスメント

(子どもを知る・クラスを知る)

# 授業のユニバーサルデザイン化

全員が楽しく「わかる・できる」授業が、誰でも、繰り返し何度でもできるように（再現性の確保） 授業づくりの工夫 ①「焦点化」②「視覚化」③「共有化」

# 学びのユニバーサルデザイン

誰にでも使える（一人のためでなく、一つの方法を全てに当てはめるのでもない） 個々のニーズに応じて調整ができる、より多様でより柔軟な目標、方法の提供  
①情報提示 ②行動と表出 ③取り組み方

# 「わかる」「できる」が肯定感・効力感

学習能力（知識・理解）

（子ども・保護者・教師のニーズを考慮して）

ソーシャル・スキル（技能）

（対人関係、コミュニケーション・スキルを含め）



自己肯定感・自己効力感

（自己理解、自己認識、情緒的安定を基盤に）

# 特性理解から主体的な学びへ

本人の願い  
(ニーズ把握)

学習方略  
(認知・情意)

動機付け  
(学習意欲)

メタ認知  
(自己理解)

自分の特性がわかり、  
自分なりの対処の仕方を身に付けることが  
できるように主体的な学びを支援する。  
自分に合った方略がわかるように。  
合理的配慮のための意思表示へ。



# 合理的配慮により学び方が変わる

## 「意思の表明」

- 自分に必要な合理的配慮について表明できること
- 自分が力を発揮できる環境と方法がわかること

## 「実態把握と基礎的環境整備に基づく判断・決定」

- 十分な教育が受けられるための合理的配慮かを判断

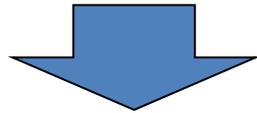
## 「定期的な評価と見直し」

- 必要な合理的配慮により適応状況が改善していく
- 教育的ニーズが変われば合理的配慮も変わっていく
- 自分の特性に関する自己理解が促されていく

# ICTからICTへ

## ・ICT

- Information and
- Communication
- Technology



## ICT

- **I**ndividualized 個々の
- **C**haracterized 特性に応じた
- **T**ool by the disability 支援機器 へ

# 特別支援教育教材ポータルサイト(支援教材ポータル)

<http://kyozai.nise.go.jp/>

支援教材ポータル  
NISE 特別支援教育教材ポータルサイト

文字の大きさ 小 標準 大  
表示色の変更 標準 1 2

ホーム 本サイトについて 教材・支援機器を探す 実践事例を探す 教材・支援機器に関する情報 研修・展示会情報

このサイトでは、特別支援教育の教材や支援機器、学校での実践事例をご紹介します。

▶ [本サイトについて](#)

▶ [教材・支援機器](#)を探す

▶ [実践事例](#)を探す

支援機器に関する情報 研修・展示会情報

教材・支援機器  実践事例

検索

「教材・支援機器」をキーワードや条件で絞り込んで検索します

「実践事例」をキーワードや条件で絞り込んで検索します

「教材・支援機器」と「実践事例」が相互に参照できるようになっています。

# ライブラリー

<http://forum.nise.go.jp/library/>



# 発達障害教育情報センターWebサイト

<http://icedd.nise.go.jp>

指導・支援 研修講義 教材・支援機器 研究紹介 施策法令 教育相談 イベント情報

文字の大きさ    表示色の変更    音声読み上げ等について

国立特別支援教育総合研究所  
発達障害教育情報センター



## センターの紹介

- はじめての方へ
- 教職員の方へ
- 保護者・一般の方へ
- 教育行政関係者の方へ
- 海外からご覧の方へ

研修講義は  
こちらから

## アンケートのお願い

## 関連リンク集

### 新着・更新情報

- 2014年4月11日  
[コンテンツ「施策法令」がリニューアルされました。◆NEW](#)
- 2014年3月31日  
[3月29日\(土\)に、世界自閉症啓発デー2014・シンポジウムが行われました。](#)
- 2014年2月17日  
[図書リスト\(2007年～2013年\)のリンクを更新しました。](#)
- 2013年12月9日  
[「世界自閉症啓発デー2013 in 横須賀」が開催されました。](#)

### コンテンツのご案内

- [指導方法や支援について知りたい](#)  
発達障害のある子どもの理解、対応の仕方等についての基本的な情報を提供します。
- [研修講義\(教員向け\)が見たい](#)  
発達障害のある子どもに関わる、理解・指導・支援についての教員向けの講義を動画でお届けします。
- [教材教具や支援機器を知りたい](#)  
発達障害のある子どもの教育に活用されている教材・教具や支援機器等について紹介します。
- [発達障害に関する研究を知りたい](#)  
発達障害のある子どもの特性に応じた教育的支援に関する研究や文献等を紹介しします。
- [国の施策・法令等を知りたい](#)  
発達障害に関する国の施策や法令、事業等についての情報を提供します。
- [教育相談に関する情報が知りたい](#)  
Q&Aや国内の相談機関、また海外渡航者に向けた日本人学校に

### 文字のサイズ

### 標準色の変更

- [音声で読み上げたい方へ](#)
- [ひらがなで読みたい方へ](#)
- [色が見にくい方へ](#)

### トピックス

#### イベント・研修会情報

【最終更新日: 2014.4.11】

- [ガイドブック等](#)
- [教材教具データベース](#)

(文部科学省委嘱事業: 全国LD協の会作成)

#### 発達障害情報・支援センター (厚生労働省 国立障害者リハビリテーションセンター)

世界自閉症啓発デー  
＜特設サイト入り口＞

毎年4月2日は、国連の定めた  
世界自閉症啓発デー  
4/2～4/8発達障害啓発週間

# 教材展示室



# インクルーシブ教育システム構築支援データベース (インクルDB)



文字の大きさ

表示色の変更

▶ [アクセシビリティツールを起動](#)

▶ [ツールの使い方](#)

- 🏠 [トップページ](#)
- ▶ [実践事例データベース](#)
- ▶ [基礎的情報](#)
- ▶ [Q & A](#)
- ▶ [その他関連情報](#)

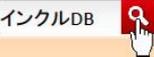
トップページ

## ◎インクルDBについて

本サイトには、大きく2つのコンテンツがあります。

『[合理的配慮実践事例データベース](#)』は、文部科学省の「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」において取り組まれている実践事例について検索するシステム(データベース)です。

『[関連情報](#)』では、インクルーシブ教育システム構築に関連する様々な情報を掲載しています。



独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

## インクルーシブ教育システム構築支援データベース (インクルDB)

- 🏠 [トップページ](#)
- ▶ [実践事例データベース](#)
- ▶ [基礎的情報](#)
- ▶ [Q & A](#)
- ▶ [その他関連情報](#)

◎インクルDBについて

本サイトには、大きく2つのコンテンツがあります。

『[合理的配慮実践事例データベース](#)』は、文部科学省の「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」において取り組まれている実践事例について検索するシステム(データベース)です。

『[関連情報](#)』では、インクルーシブ教育システム構築に関連する様々な情報を掲載しています。



平成24年7月に中央教育審議会初等中等教育分科会において、「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進」が報告されました。これを受けて、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所では、インクルーシブ教育システム構築に関連する様々な情報を掲載したインクルーシブ教育システム構築支援データベース（略称：インクルDB）を文部科学省の協力を得て、平成25年11月に開設しました。そして、平成26年7月には、新たなコンテンツとして『合理的配慮実践事例データベース』を開設しました。

インクルDBは、教育の関係者に向けた理解啓発や具体的なインクルーシブ教育システム構築支援に関する情報を提供することを目的としています。

**リンクのお願い**

国立特別支援教育総合研究所では、より多くの方々にインクルDBをご利用いただくため、リンクの設定をお願いしております。なお、リンクを設定する際は、国立特別支援教育総合研究所のインクルーシブ教育システム構築支援データベースへのリンクである旨を明記してください。

リンク先URL <http://inclusive.nise.go.jp/>

### 「合理的配慮」実践事例データベース

▶ [実践事例データベース](#)

平成25年度実践事例データを 11件 追加しました。  
 <平成25年度実践事例データ 計 105件 公開> (H27.3.27)

- ▶ [事例を閲覧・活用される際の留意事項](#)
- ▶ [実践事例データベースの検索方法](#)

### 関連情報

▶ [基礎的情報](#)

法令・施策や関連用語の解説など

▶ [Q & A](#)

インクルーシブ教育システム構築に関する 保護者向けのQ&A ました。

▶ [その他関連情報](#)

就学に関する情報、教材に関する情報など

<http://inclusive.nise.go.jp/>

インクルDB